おおい自然園

No.134

チャイロスズメバチ

従来は珍しいハチでしたが、最近日本各地で増加傾向にあり、県内でも数が増えています。他のスズメバチとは真っ黒な腹部で簡単に区別できます。女王バチは自分で巣を造らず、モンスズメバチやキイロスズメバチの女王を殺し、その巣を乗っ取り、元々いたハチの家族を自分の子育てなどに働かせます。夏頃になると巣のハチは大半が本種だけになり、野外でよく見られるようになります。

スズメバチの中では比較的攻撃性が強く、黒い体のために樹液などにいても目立ちにくいため、注意が必要です。また、夜間にも樹液に来ることがあります。夏休みはカブトムシやクワガタムシを探す人が多いと思いますが、くれぐれも刺されないように注意してください。

▲チャイロスズメバチ

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員　渡辺恭平

【おおい自然園HP】

▲大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。

【自然NOWへの投稿】

▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で